

[課程－2]

審査の結果の要旨

氏名 森田 一輝

本論文はヒト胎盤栄養膜細胞分化モデルにおける遺伝子発現解析から、未知のヒト内在性レトロウイルス存在の可能性を明らかにしたものである。

まず胎盤から得られた純度の高い栄養膜細胞（CTB）から合胞体栄養膜細胞（STB）への分化系を確立し、その分化系を利用し合胞体化の過程で発現する遺伝子を RNA-seq で解析した。

そのデータを内在するウイルス由来配列データベース gEVE に照合することで 10 個の遺伝子を最終的に pick-up し、5' RACE, 3' RACE から遺伝子の 5' , 3' 末端を同定した。結果として 2 つの新規遺伝子を同定した。

これまでにいくつかの HERV 遺伝子座位が特定の遺伝子の発現や特定の疾患に関与していることが示されている。本論文ではヒト CTB→STB 分化モデルを用いて、絨毛分化過程で発現する新たな HERV を同定した点は新規性が高く評価でき、学位の授与に値するものと考えられる。